

原発のない未来のために → あなたはどの政党を選択しますか。

首都圏反原発連合のホームページに『原発のない未来のために
→ あなたはどの政党を選択しますか。』として、15の政党の
原子力発電所に対する姿勢が出ています。その一部を紹介します。

凡 例
◎=脱原発
○=段階的脱原発
△原発維持に近い脱
原発
×=原発維持・推進

共産党

原発即時ゼロ

- ◎停止中の原発の再稼働はしない。
- ◎稼働中の大飯原発は停止。
- ◎すべての原発を停止させたまま廃炉。
- ◎核燃料サイクル政策を廃止。

反TPP・脱原発・消費増税凍結 を実現する党

タイムスケジュールをたてて原発ゼロへ

- タイムスケジュールをたて官民総力をあけて原発ゼロに向けて取り組む。
- ◎原発の再稼働、新增設は認めない。
- ◎核燃料サイクル政策を廃止。

民主党

2030年代に原発稼働ゼロ

- ×野田内閣はこの方針を閣議決定せず。
- ×核燃料サイクルは維持。
- △原子力検討委員会の安全確認を得た原発は再稼働。
- △新設・増設は行わないとしながら、建設中の大間原発、島根原発については容認。

自民党

責任を持って原発を再稼働させる

- △原発再稼働の是非は3年以内の結論を目指す。
- △脱原発は言及せず、10年以内に結論を出す。
- ×総裁選候補5人全員が「最終的な原発ゼロ」に反対。
- ×元経済産業大臣として原発を推進してきた甘利明氏が政調会長に就任。

日本維新の会

原発の安全基準などのルール構築

- ×橋下徹大阪市長は、当初大飯原発の再稼働に反対していたが、一転して容認。
- ×太陽の党と合流後は脱原発に言及せず。
- ×石原慎太郎代表は「原発ゼロはただのセンチメント」「開発した技術体系を放り出すのはおろかだ」と発言。

公明党

遅くとも40年後に原発ゼロ

- △少なくとも2030年までに3分の2の原発を廃止し廃炉。遅くとも40年後に原発ゼロへ。
- △原発の新規着工は認めない。40年運転制限を厳格に適用。
- ◎高速増殖炉もんじゅは廃止。
- △新たな安全基準による原発の再稼働は認める。

多くは理念条例 実効性の担保は？

今議会には市長公約の条例が6本提案されています。

住民投票条例、公契約条例は、新たな市のしくみを作ることになります。公契約条例は党議員団がその実現を要求していたものです。

しかし、そのほかの条例は、これまで市が行ってきたことを文章化し、条例化した感じで、多くは理念条例です。実効性があるか否かは、今後の取り組み如何で変わってきます。子ども育成条例など、厚木の子どものように幸せになれるかを、きちんと見定めていく必要があります。

名称	条 例 の 概 要	任 委 所 管 常 委
厚木市住民投票条例	市政の重要な事項について、市民（投票資格者）の意思を直接確認するため、市長が実施する住民投票について、対象、形式、手続き等を定める。	総務企画常任委員会
厚木市公契約条例	事業の質の向上と、地域経済の発展のため、市が契約する1億円維持工の工事と1000万円以上の業務委託について、従事する労働者の労働報酬等を定める。	
厚木市自転車安全利用促進条例	セーフコミュニティの基本理念のもとに、自転車の安全な利用に関する基本的な事項等を差でめる事により、意識の向上、事故の未然防止を図り、自転車の安全な利用の促進に資する。	
厚木市子ども育成条例	厚木の豊かな自然の中で子どもが元気で心豊かに成長するための取り組みについて、基本理念、関係機関・事業者の役割、市の責務等を定め、子育て環境の充実を図る。家庭の日（第3水曜日）、子ども月間（5月）を設ける。	市民福祉常任委員会
厚木市文化芸術振興条例	厚木における文化芸術の基本的な事項を定め、市、市民、団体等の役割を明らかにすることで、人、まち、自然が響き合う厚木の文化芸術を創造し、心豊かな市民生活と活力に満ちた地域社会の実現に寄与する。	
厚木市観光振興条例	観光の基本理念を差でめ、市の責務及び観光事業者等の責務を明らかにするとともに、観光の施策に関する事項を定めることにより、活力ある地域づくり、経済の発展、市民生活の向上を図る。	都市経済